

追加型投信／内外／株式

販売用資料

データ基準日：2023年12月29日

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)

〈愛称：ロイヤル・マイル〉

2023年10-12月の当ファンドの運用状況

本資料は、ベイリー・ギフォード社*のコメントを基に作成しております。
*ベイリー・ギフォード&カンパニーをベイリー・ギフォード社と呼ぶことがあります。

本資料の 3つのポイント

- ① 2023年10-12月の寄与度上位銘柄は「PDDホールディングス」「アディエン」
下位銘柄は「メイトゥアン」「ザ・トレードデスク」
- ② 2023年10-12月で12銘柄のエンゲージメント実施
- ③ 組入銘柄のファンダメンタルズ(企業の財務状況)は良好

2023年10-12月の運用状況

■ 市況動向と運用状況(2023年10-12月)

【市況動向】

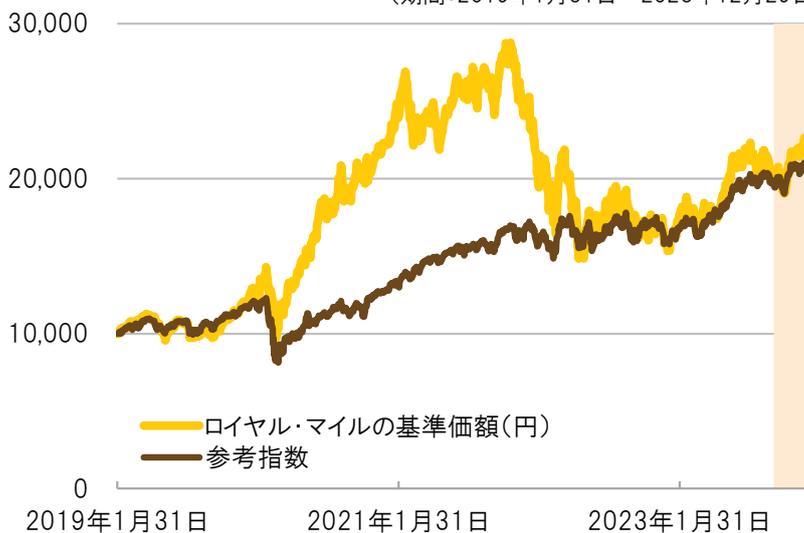
10月の世界株式は、米国中心に長期金利上昇や、イスラエル戦争の発生による中東情勢悪化に伴う原油高再燃リスクが意識されたことなどで、上値の重い展開となりました。11月の世界株式は、米景気指標が予想より下振れしたことや各国インフレ鈍化の継続が確認され、世界的利上げの終了に加え、2024年の米欧利下げ開始への期待が高まったことなどから上昇しました。12月の世界株式は、景気が総じて緩やかな減速傾向にあるものの、米国を中心に雇用環境は依然良好で消費が落ち込みにくい状況であり、景気後退せずに物価上昇を抑制できることへの期待が高まったことなどから、上昇しました。

【ロイヤル・マイルの運用状況】

上記の市況動向のなか、2023年10-12月のロイヤル・マイルの基準価額は12.6%上昇しました。

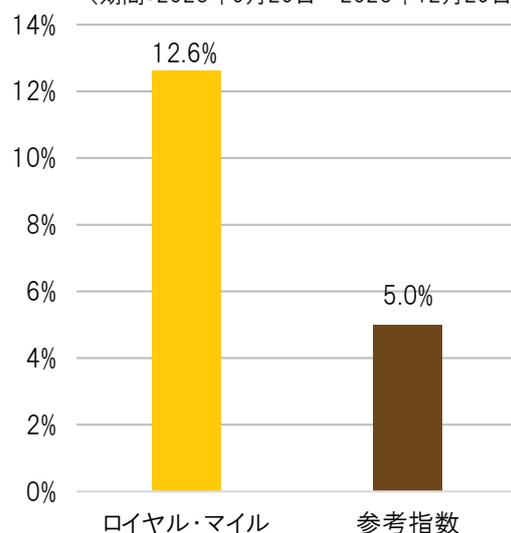
設定来の基準価額等の推移

(期間：2019年1月31日～2023年12月29日)



2023年10-12月の騰落率

(期間：2023年9月29日～2023年12月29日)



色付け：2023年10月2日～2023年12月29日

基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。表示期間において分配金のお支払いはありませんでした。参考指数は、MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)で、MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については、後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。参考指数は、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

本資料は、当ファンドの概要について投資家のみなさまにご紹介するために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。本資料では、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンドを「ロイヤル・マイル」、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)を「ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)」とすることがあります。また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」とすることがあります。当ファンドの投資対象ファンドの運用は、ベイリー・ギフォード&カンパニーのグループ会社である、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドが行います。

2023年10-12月の寄与度上位・下位5銘柄

寄与度*上位・下位5銘柄(2023年12月末時点での過去3ヵ月)

上位5銘柄

	銘柄	寄与度(%)
1	PDDホールディングス	2.2
2	アディエン	1.5
3	ショッピファイ	1.0
4	アマゾン・ドット・コム	1.0
5	デクスコム	0.9

下位5銘柄

	銘柄	寄与度(%)
1	メイトウアン	-0.9
2	ザ・トレードデスク	-0.5
3	CATL	-0.5
4	モデルナ	-0.5
5	テスラ	-0.4

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

*寄与度:当ファンドの主要投資対象である外国投資法人に対する概算の寄与度(期間リターンと平均ウェイトから算出)

上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当該期間における寄与度上位・下位5銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

2023年10-12月の基準価額にプラスに影響した銘柄のご紹介

寄与度上位

PDDホールディングス

【国・地域】中国

【組入順位/比率】2位/6.8%

- 2023年7-9月期決算で、売上が前年同期比90%以上と急速に増加しました。同社は引き続き、農業やサプライチェーン技術への投資を行い、プラットフォームで販売される農産物の総合的な品質向上に向けたインフラの整備を行っています。
- 同社のネット通販アプリ「Temu」は立ち上げから約1年で、40以上の国と地域で展開されています。同アプリは同社にとって新たな収益源となっており、今後も力強い成長を続ける企業の一つだと考えています。

■ 株価
(米ドル)

(期間:2023年10月2日~2023年12月29日)



(出所)Bloombergのデータ、企業HP、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料、各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

組入比率は2023年12月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、寄与度上位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

2023年10-12月の基準価額にプラス・マイナスに影響した銘柄のご紹介

寄与度上位

アディエン

【国・地域】オランダ
【組入順位/比率】9位/3.3%

- 2023年11月より、決算報告の頻度を半期から四半期に変更したことが、市場で好意的に受け取られました。2023年7-9月期決算で、取引量、純収益はともに前年同期比で約20%増加しました。この成長は、米国デジタルビジネスにおける価格競争激化の悪影響を受けるという市場予想を覆しました。
- 同社の報告を受け、同社の成長機会、競争優位性、差別化された企業文化、実行能力を高く評価しています。

寄与度下位

メイトウアン

【国・地域】中国
【組入順位/比率】25位/1.8%

- 2023年7-9月期決算で、売上高は約20%、営業利益は約240%前年同期比で増加しました。一方で、次の四半期での成長鈍化への懸念から株価は下落しました。
- 同社が提供するサービスが顧客からさらに信頼や愛着を得られるように継続的に商品宣伝に投資する予定です。短期的には利益率低下につながる可能性はありますが、中長期的には売上増加や単価上昇が見込めると考えています。

寄与度下位

ザ・トレードデスク

【国・地域】アメリカ
【組入順位/比率】13位/3.0%

- 2023年7-9月期決算で、次の四半期の売上高見通しが市場予想を下回ったことから、株価は一時大きく下落しました。米国自動車業界のストライキにより自動車産業の広告支出が減少した影響もありましたが、これは短期的だと考えています。
- より多くの消費者がストリーミング*に移行しつつある中、同社は高成長が期待されるデジタル広告市場において、今後10年間で大きなシェアを獲得していくと考えています。

*インターネット上の動画・電子書籍等のデータを受信しながら再生・利用する仕組み。

(出所)Bloombergのデータ、企業HP、ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料、各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

組入比率は2023年12月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、寄与度上位・下位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

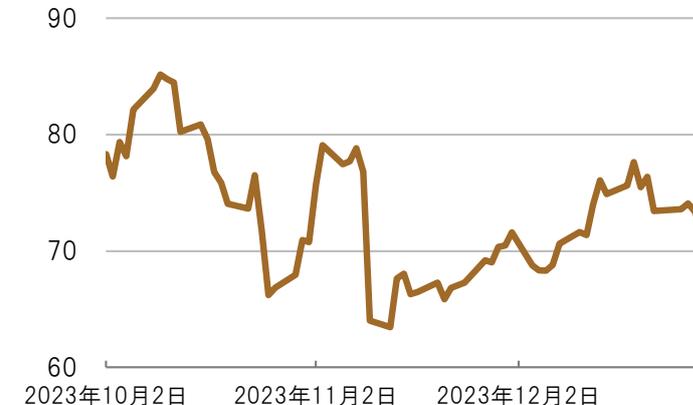
■ 株価 (ユーロ) (期間: 2023年10月2日~2023年12月29日)



■ 株価 (香港ドル) (期間: 2023年10月2日~2023年12月29日)



■ 株価 (米ドル) (期間: 2023年10月2日~2023年12月29日)



2023年10-12月の売買動向等

主な売買動向

2023年11月
新規購入【組入比率】
1.3%(第30位)

エンフェーズ・エナジー

アメリカの太陽光発電向けマイクロインバーター*・システムの製造・販売企業

【組入理由】

- 同社のマイクロインバーターは、ほぼ全ての太陽光パネルと組み合わせて使用でき、高度なエネルギーモニタリングと制御機能を提供しています。太陽光パネルとバッテリーのコストが引き続き低下することで、同社は化石燃料から脱却したエネルギーシステムの中核として機能し、分散型太陽光発電の普及による恩恵を受けることができると考え、同社を新規購入しました。

*太陽光の直流電力を交流電力に変換する装置

イルミナ

アメリカの遺伝子解析装置の製造・販売企業

【売却理由】

- がん検査技術開発会社「グレイル」の買収に関する状況が改善されることを期待し保有し続けましたが、状況が改善されることはありませんでした。また同社は、経営に問題があったことをようやく認め、経営陣の交代と取締役会の再編を行ったものの、遺伝子解析市場での競争激化にも懸念があったため、全売却しました。

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

組入比率は2023年12月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2023年10-12月の売買動向銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

(ご参考)LTGG戦略*代表ファンドの銘柄平均保有期間

(2023年12月末時点)

8.7 年

*当ファンドの主要投資ファンドで用いられる運用戦略(ロングターム・グローバル・グロース戦略)
銘柄平均保有期間は、LTGG戦略の代表ファンドの2023年12月末までの1年間の売買回転率(年平均)の逆数を使用しています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

銘柄の選択とエンゲージメント

ベイリー・ギフォード社のアプローチ

エンゲージメントとは、機関投資家が、当該企業の持続的な成長と企業価値向上を促すことを目的に行う「目的をもった対話」のことです。中長期的な視点から経営の改善に働きかけることで、企業の持続的な成長と企業価値向上を促すことを目指します。エンゲージメントの手段としては、経営者との直接対話、株主総会での議決権行使や株主提案などを通じた対話などがあります。

ベイリー・ギフォード社は、銘柄を選ぶ10のチェックポイントを用いるにあたり、企業とのエンゲージメントを重視し、企業への影響力を最大化するために、長期的なボトムアップ分析に基づくエンゲージメントにすることを目指しています。

企業とのエンゲージメントを進める際の同社の目的は、次の3つのカテゴリーに分けられます。

- ① 投資先企業の事業進捗に対する理解
- ② 経営者や創業者との面談を通じた長期的な信頼関係の構築
- ③ 企業の潜在力を拡大させるための洞察の提供

エンゲージメントを通じ、同社は企業のサステナブルな成長を促し、長期的な投資リターンを獲得を目指しています。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

銘柄の選択とエンゲージメント

銘柄を選ぶ10のチェックポイント

LTGG戦略の運用チームは、ポートフォリオの構築にあたり、銘柄を選ぶ10のチェックポイントを用いています。

(2023年12月末時点)

 産業の魅力度	1. 今後5年で売上が2倍になる余地があるか? 2. それ以降の見通しはどうか?
 企業の競争力	3. 競争優位な点は何か? 4. 企業文化は他社と明確に差別化されているか? 事業環境の変化に順応可能か? 5. なぜ顧客はその企業を好むのか? その企業の長期的な成長にとって最も重要な社会的要素は何か?
 財務基盤の強さ	6. 資本利益率は魅力的か? 7. 資本利益率は上昇するのか? それとも低下するのか?
 経営陣の資質	8. どのように資本配分をしているのか? (設備投資、配当や撤退戦略等)
 バリュエーション	9. 株価が5倍以上になる可能性は? 10. なぜ市場は見過しているのか?

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記チェックポイントは、今後変更されることがあります。

2023年10-12月のエンゲージメント銘柄

銘柄	国・地域	組入比率	主な面談者	目的
エヌビディア	アメリカ	6.9%	CEO(最高経営責任者)、CFO(最高財務責任者)	ガバナンスや企業文化について理解
アマゾン・ドット・コム	アメリカ	6.5%	非常勤役員、上級管理職	取締役会の有効性、従業員満足度等について議論
テスラ	アメリカ	3.4%	IR責任者、CFO	前任者のCFOが果たした役割をどのように維持し、同社の成長をどのようにサポートするかについて議論
アディエン	オランダ	3.3%	経営陣、グローバル人事責任者、北米ビジネス責任者等	投資家とのコミュニケーション、従業員数、企業文化について議論
モデルナ	アメリカ	2.7%	IR、CLO(最高法務責任者)	ガバナンス改革と役員報酬について議論
エルメス・インターナショナル	フランス	2.5%	IR担当者、ESG担当者等	CO ₂ 排出量と生物多様性の目標への進捗状況、役員報酬へのESG基準適応について議論
ピオンテック	ドイツ	1.9%	創業者兼CEO	治療技術における学術面と商業面のバランスに対する経営陣の考え方について議論
CATL	中国	1.7%	工場責任者	ゼロカーボンバッテリー工場の訪問による、カーボンニュートラル目標への取り組みの理解
サムサラ	アメリカ	1.5%	IR担当者、CFO	ユーザーデータ利用に関して労働組合からの懸念について議論
シー	シンガポール	1.4%	CEO、COO(最高執行責任者)	長期的な成長を追求するための経営陣による戦略的な決定について議論
エンフェーズ・エナジー	アメリカ	1.3%	CEO	企業文化について理解
アリババグループ・ホールディング	中国	1.1%	経営陣	組織再編の進捗状況と次のステップについて議論

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

組入比率は2023年12月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2023年10-12月のエンゲージメント銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

投資対象ファンド*における組入比率(2023年12月末時点)

* 当ファンドの投資対象ファンド: ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド

組入上位10銘柄

(2023年12月末時点)

(組入銘柄数: 37銘柄)

銘柄	国・地域	業種	比率
1 エヌビディア	アメリカ	情報技術	6.9%
2 PDDホールディングス	中国	一般消費財・サービス	6.8%
3 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	6.5%
4 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	4.4%
5 アトラシアン	アメリカ	情報技術	3.9%
6 デクスコム	アメリカ	ヘルスケア	3.8%
7 ショッピングファイ	カナダ	情報技術	3.5%
8 テスラ	アメリカ	一般消費財・サービス	3.4%
9 アディエン	オランダ	金融	3.3%
10 クラウドフレア	アメリカ	情報技術	3.2%

※2023年9月末で上位10銘柄に含まれていなかった銘柄に色付け。

【ご参考】

(2023年9月末時点)

(組入銘柄数: 37銘柄)

銘柄	国・地域	業種	比率
1 エヌビディア	アメリカ	情報技術	7.2%
2 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	6.5%
3 PDDホールディングス	中国	一般消費財・サービス	5.4%
4 テスラ	アメリカ	一般消費財・サービス	5.2%
5 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	4.1%
6 アトラシアン	アメリカ	情報技術	3.9%
7 ザ・トレードデスク	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.8%
8 ケリング	フランス	一般消費財・サービス	3.6%
9 デクスコム	アメリカ	ヘルスケア	3.4%
10 モデルナ	アメリカ	ヘルスケア	3.3%

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	53.3%
2 中国	15.0%
3 オランダ	7.7%
4 フランス	5.4%
5 カナダ	3.5%
6 スウェーデン	2.7%
7 ブラジル	2.5%
8 韓国	2.4%
9 インド	2.1%
10 ドイツ	1.9%

組入上位10業種

業種	比率
1 情報技術	31.9%
2 一般消費財・サービス	30.8%
3 ヘルスケア	13.2%
4 コミュニケーション・サービス	12.9%
5 金融	6.3%
6 資本財・サービス	2.4%
7 素材	0.4%
8 -	-
9 -	-
10 -	-

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

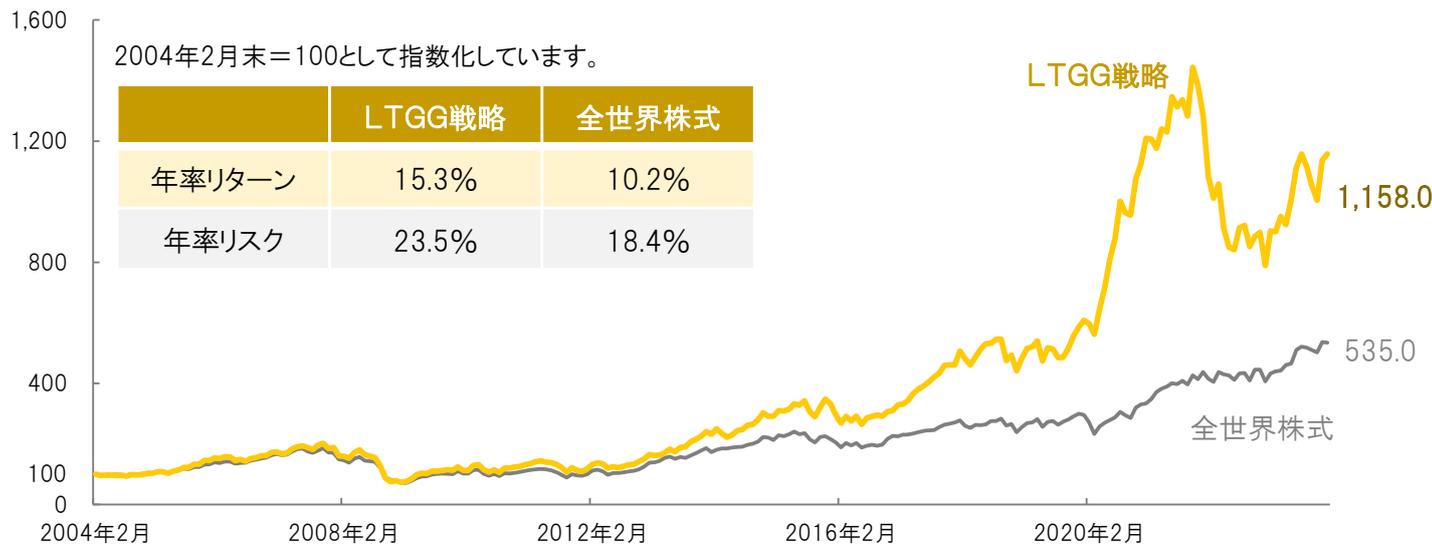
(ご参考)LTGG戦略の運用開始来のパフォーマンス

当ファンドについてご理解をより深めて頂くために、下記には参考としてLTGG戦略のコンポジット*のデータを用いています。LTGG戦略のコンポジットは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

*コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

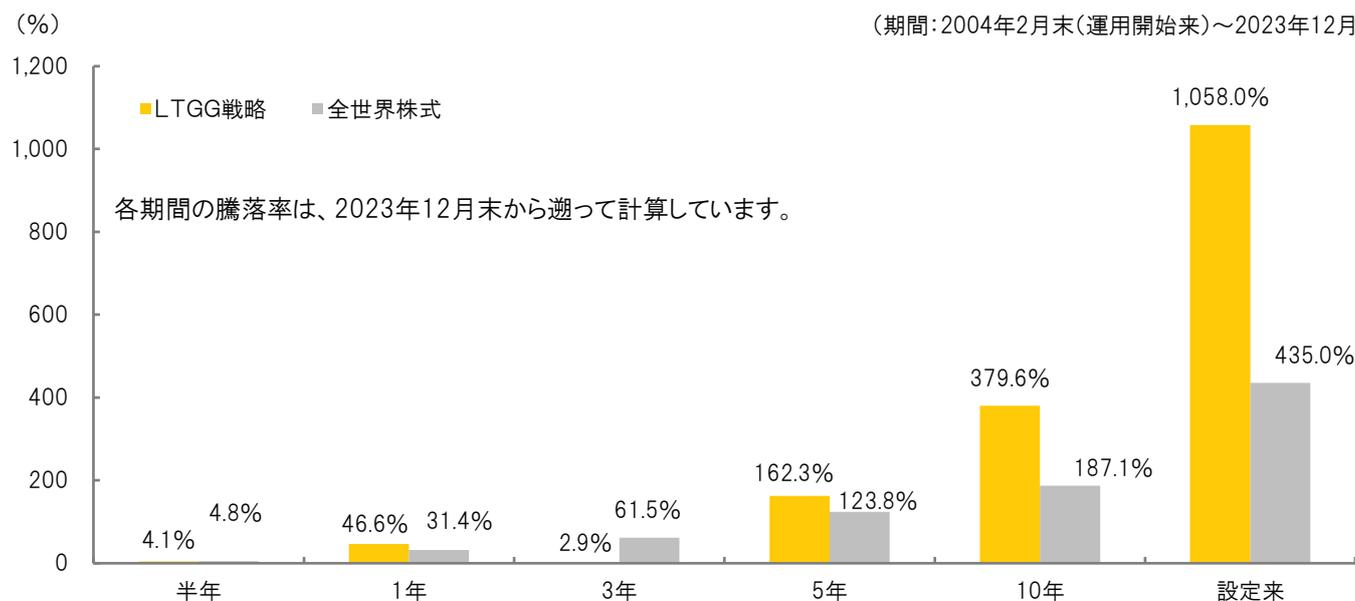
運用開始来のパフォーマンス推移

(期間:2004年2月末(運用開始来)~2023年12月末)



期間別の騰落率

(期間:2004年2月末(運用開始来)~2023年12月末)



上記では、代表的な指数の中で、LTGG戦略の投資対象の性質を表すのに、運用チームが相応と考える全世界株式と比較しています。全世界株式は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(税引き後配当込み米ドルベース)をもとに委託会社が円換算したものです。全世界株式は当ファンドのベンチマークではありません。LTGG戦略のコンポジットは、運用報酬控除後、円ベース、配当および分配金再投資のパフォーマンスを表しています。指数については、後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。また、税金・手数料等を考慮していません。リターンは設定来騰落率を年率換算したものであり、リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算したものです。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

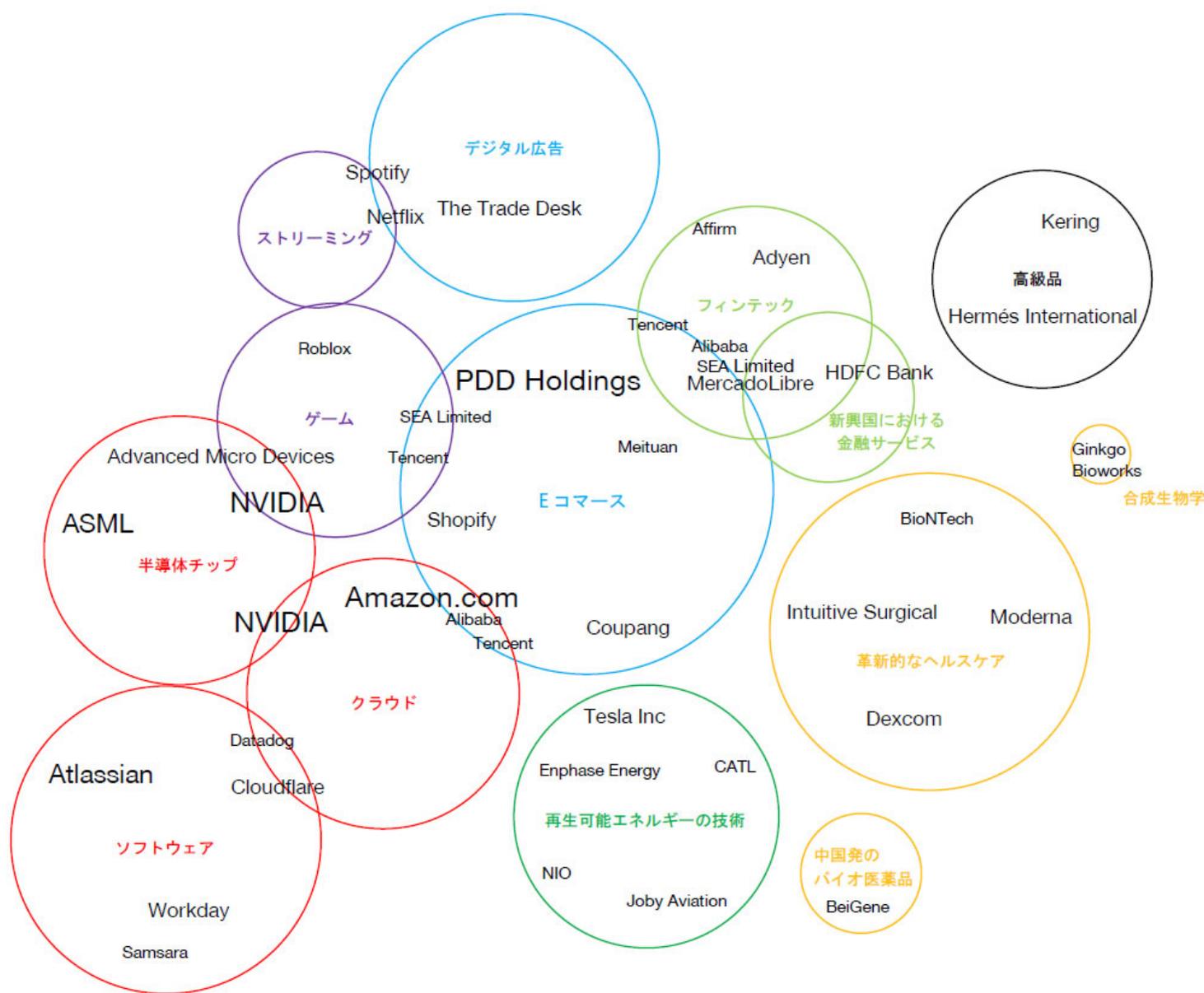
上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

銘柄本位のポートフォリオ構築

(ご参考)オイラー図のご紹介(2023年12月末時点)

オイラー図は、18世紀のスイス人数学者の名前を冠した集合の相互関係を表す図です。運用チームでは銘柄本位でポートフォリオを構築するものの、銘柄選択の結果として、オイラー図をリスク及び銘柄分散度合いを視覚化したリスク管理手法としても活用しています。

オイラー図のフォントの大きさは対象銘柄の保有比率、円の大きさは各円に属する銘柄の合計の保有比率を示しており、大きいものほど運用チームの確信度が高いことを表しています。2023年12月末時点では、「Eコマース」「革新的なヘルスケア」などが運用チームが比較的確信度が高いと考えるテーマとなっています。



(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記は2023年12月末時点のモデルポートフォリオに基づくデータであり、実際のポートフォリオは当該モデルポートフォリオと異なる場合があります。また、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。上記は、今後変更されることがあります。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード社 長期投資の視点

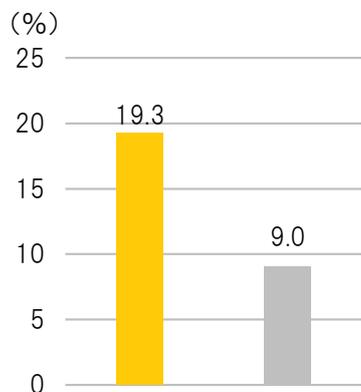
保有銘柄のファンダメンタルズ(企業の財務状況)は引き続き相対的に堅固だと考えます。ポートフォリオ保有銘柄のフリー・キャッシュフロー(企業が自由に使用できる資金)成長率、財務基盤の強さ、将来への成長投資は高い水準を示しています。ベイリー・ギフォード社では、株価は長期的にファンダメンタルズに沿って動くと確信しており、ポートフォリオのファンダメンタルズが相対的に堅固なことは心強いことだと考えています。

下記は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

相対的に堅固なファンダメンタルズ(2023年12月末時点)

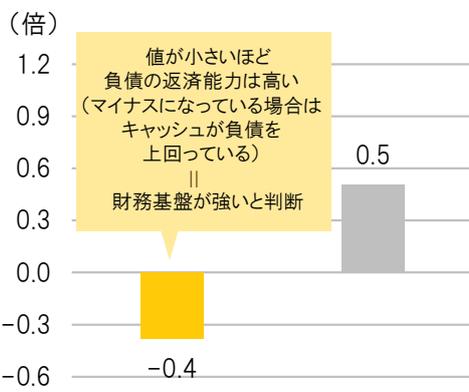
フリー・キャッシュフロー成長率:
企業価値の中長期的な成長に結びつけられるか?

= 5年間の成長率(年率)



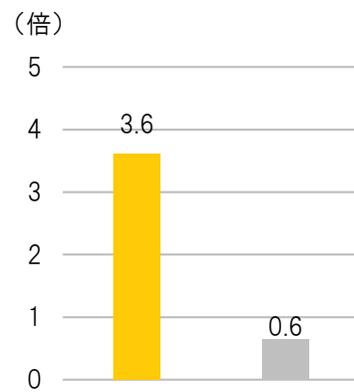
財務基盤の強さ:財務基盤は堅固か?

$$= \frac{\text{純負債(負債 - キャッシュ)}}{\text{資本}}$$



資本配分:将来の成長に投資しているか?

$$= \frac{\text{資本的支出-減価償却+研究開発}}{\text{配当+自社株買い}}$$

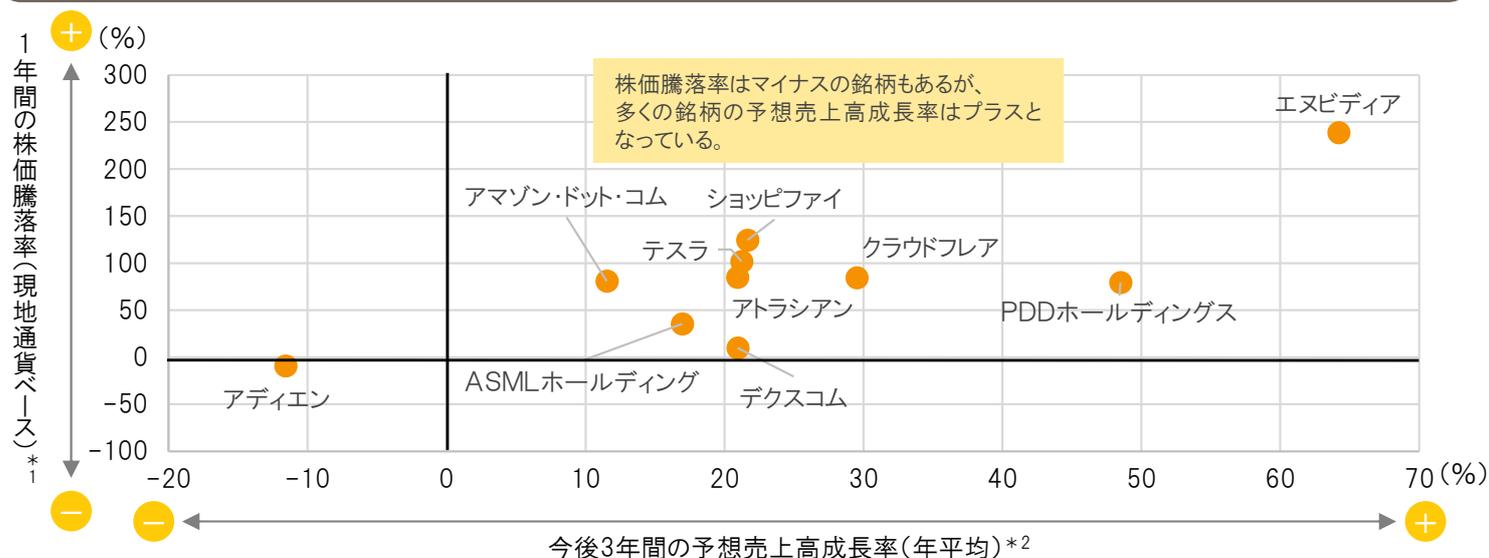


■ LTGG戦略の代表ファンド ■ (ご参考)全世界株式

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

データは米ドルベース、除く金融セクター。フリー・キャッシュフロー成長率は5年前と比較したものを加重平均して算出。全世界株式は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックスで、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については、後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

組入上位10銘柄(2023年12月末時点)の株価騰落率と予想売上高成長率



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

*1 2022年12月末時点と2023年12月末時点の株価を使用して算出。なお、当ファンドの組入上位10銘柄は、2023年12月末時点のものであり、1年間継続して保有していることを示すものではありません。

*2 各銘柄の会計年度ごとに算出(2024年1月10日時点のBloomberg予想値)。上記は当ファンドのご理解を深めていただくために、組入銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

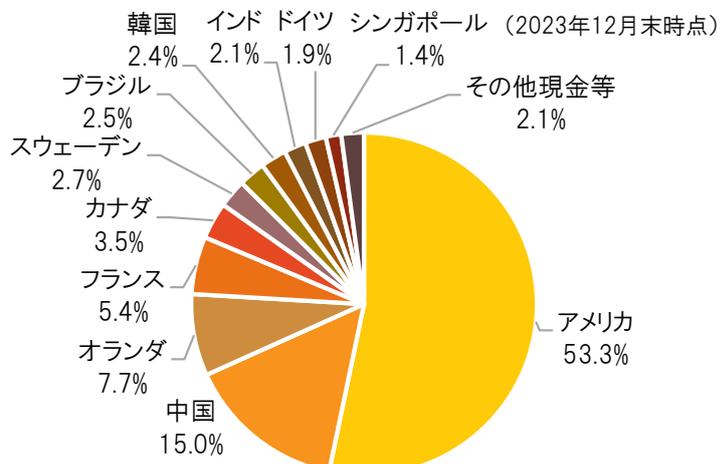
改めて知りたい！ロイヤル・マイルのポイント

ポイント
1

グローバルで投資

LTGG戦略では「10のチェックポイント」を活用し、ボトムアップで銘柄を選定しています。組入国は約半数はアメリカですが、残りの約半数は欧州や新興国など多様な国にわたっています。

組入国・地域別比率



(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

ポイント
2

成長企業を早期に見出し、長期で保有

下記は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード社は、現地調査、経営陣との面談に加えて、大学や独立系の調査機関との連携を含めた様々な情報ソースから情報収集を行い、成長が期待される企業を早期に見出し、積極的に投資を行っています。そしてLTGG戦略では、それらを長期的に保有し続けることで大きな成長機会を捉え、大きなリターンの獲得をめざしてきました。

アマゾン・ドット・コム

【国・地域】アメリカ 【組入順位/比率】3位/6.5%

■ 株価

(米ドル)

(期間:2004年2月末~2023年12月末)



(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

テスラ

【国・地域】アメリカ 【組入順位/比率】8位/3.4%

■ 株価

(米ドル)

(期間:2010年6月末~2023年12月末)



組入比率は2023年12月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、長期で保有している銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。保有開始時期は、代表ファンドのデータを用いています。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

改めて知りたい！ロイヤル・マイルのポイント

ポイント
3

幅広い業種に投資

下記は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

当ファンドは、国や地域、業種、時価総額に捉われずに、長期の視点で高い成長が期待される企業に投資しています。エヌビディアなど情報通信、いわゆるハイテク銘柄も組み入れています。それ以外にもさまざまな業種の企業に投資しています。例えば、一般消費財・サービスで古くから事業を行っている「エルメス」や資本財・サービスで最先端の事業を行っている「ジョビー・アビエーション」があげられます。



エルメス・インターナショナル

【国・地域】フランス 【組入順位/比率】19位/2.5%

【企業概要】

- バッグ、スカーフ、ジュエリー、家具などの高級ブランドを展開しています。代表的な製品には、バーキンやケリーなどのバッグがあります。
- 1837年から続く家族経営で、家内制手工業のビジネスモデルをとっています。職人のノウハウの継続的な向上に重きをおき、職人の卓越した手仕事の技を次世代に継承しています。

【組入理由】

- 家族経営で、世代から世代へとより良い形で会社を引き継ぐことを最終的な目標としているため、長期的な視点で経営を行っていると考えています。
- 製品の品質が優れており、強い価格決定力と高い利益率を背景に大きな成長が見込まれます。

■ 株価

(ユーロ)

(期間:2004年2月末~2023年12月末)



ジョビー・アビエーション

【国・地域】アメリカ 【組入順位/比率】36位/0.7%

【企業概要】

- 電動垂直離着陸機(eVTOL)を開発しています。「空飛ぶタクシー」とも言われ、電動モーターで駆動し、離着陸時はヘリコプターよりも静か、フライト中はほぼ無音、またCO₂の排出もありません。
- 2023年9月に米空軍にeVTOLを初納入しました。米空軍と共同で飛行試験や運用を実施し、2025年の商用化に向けた準備を進めています。

【組入理由】

- 生産規模の拡大や商用化が進むことで大きく成長すると考えています。航空機の設計から運営まで自社で行う点に競争上の優位性があるとみています。
- 都市部の交通渋滞緩和やCO₂排出量削減をはじめとした環境への貢献の期待から、空中での移動が一般的になれば、大きな成長が実現できると考えています。

■ 株価

(米ドル)

(期間:2021年8月末~2023年12月末)



(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

組入比率は2023年12月末時点の投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。国・地域はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、一般消費財・サービスと資本財・サービスの銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。保有開始時期は、代表ファンドのデータを用いています。画像はイメージです。

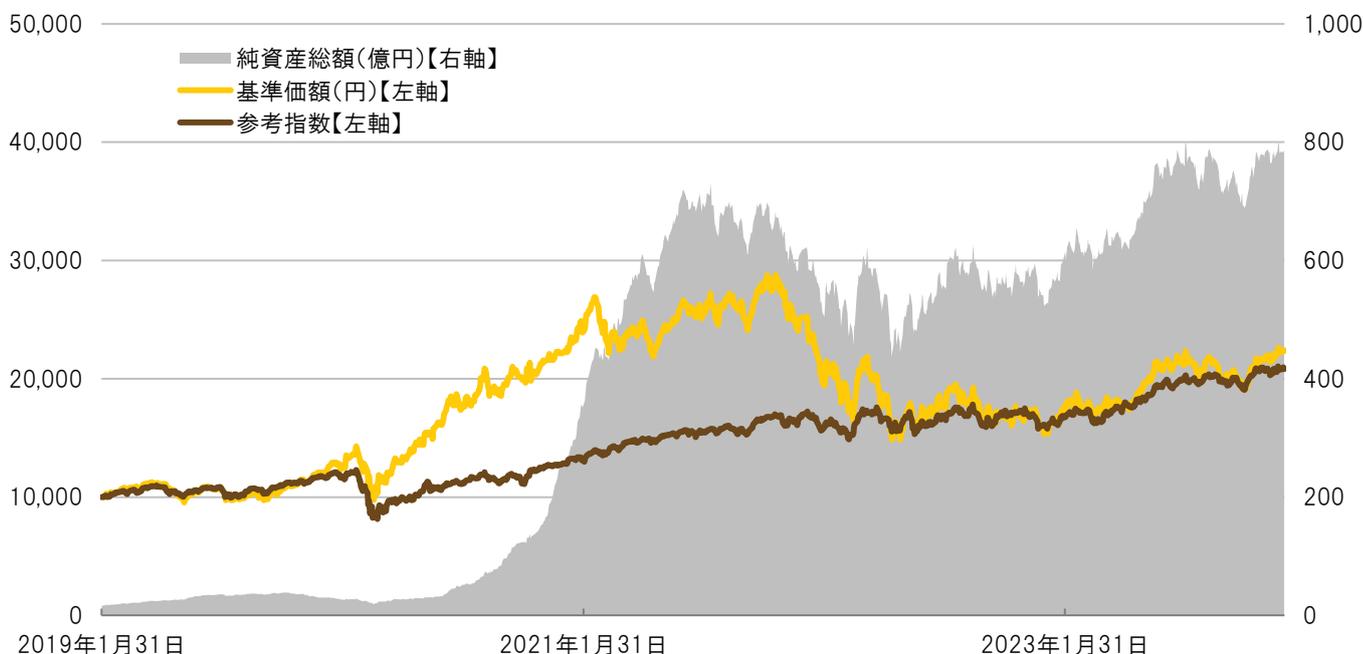
上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

当ファンドの運用実績

設定来の基準価額等の推移

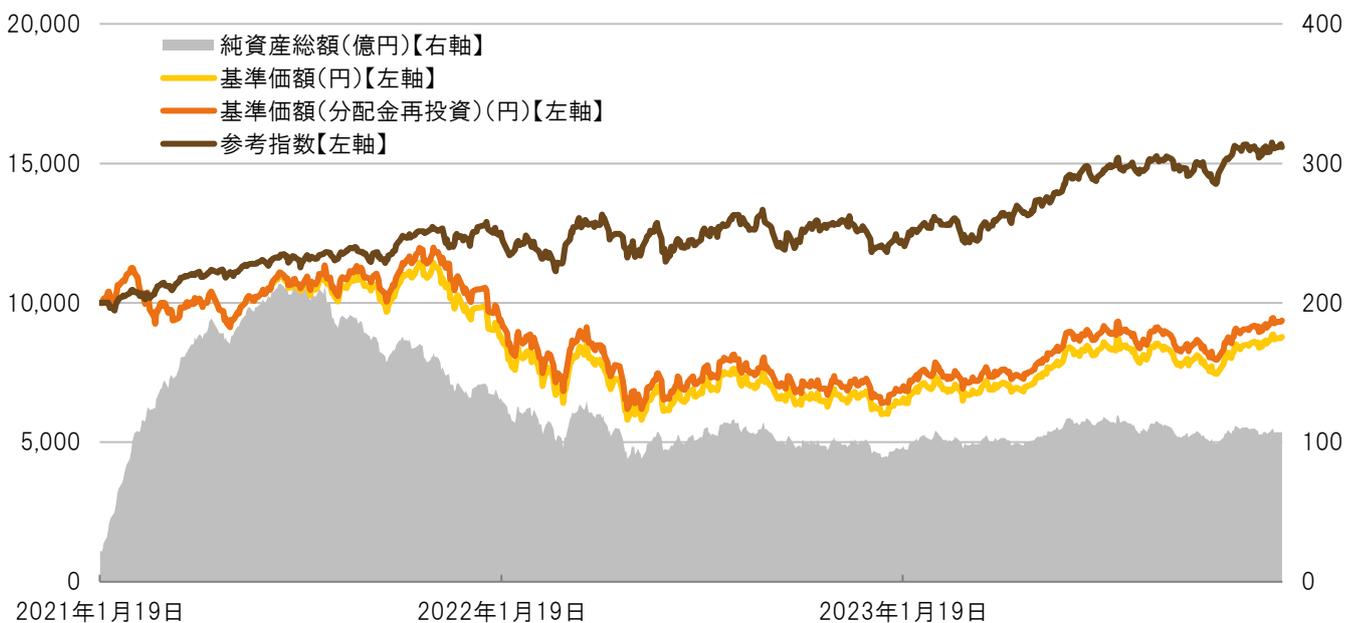
■ ロイヤル・マイル

(期間:2019年1月31日~2023年12月29日)



■ ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)

(期間:2021年1月19日~2023年12月29日)



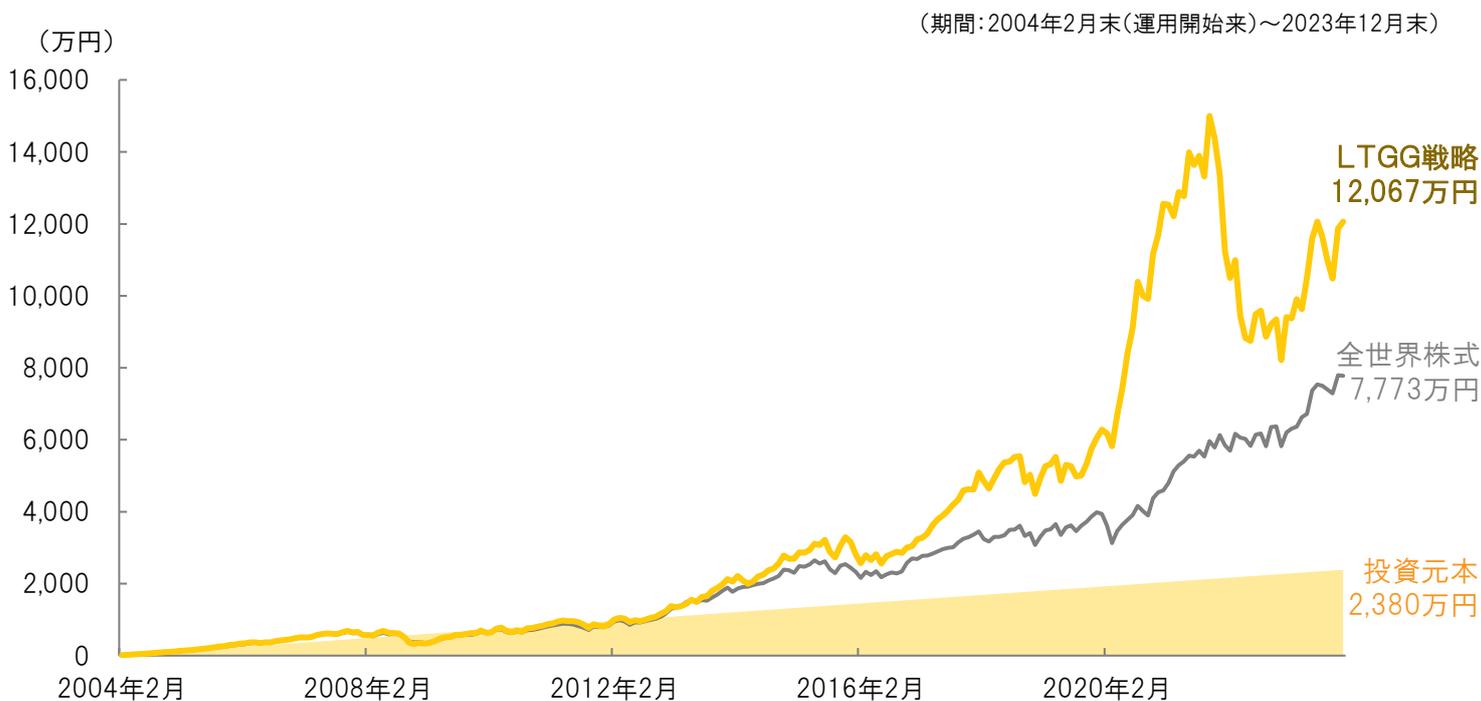
基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。ロイヤル・マイルは、表示期間において分配金のお支払いはありませんでした。参考指数は、MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)を使用し、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については、後記の【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

(ご参考)積立投資をした場合のシミュレーション

下記は、LTGG戦略コンポジット(運用報酬控除前)のパフォーマンスを使用しています。LTGG戦略コンポジットは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。
下記のグラフ内におけるデータは、あくまで過去の値を用いたシミュレーションであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

毎月10万円ずつ積立投資した場合のLTGG戦略、全世界株式、投資元本の推移



毎月10万円ずつ積立投資した場合の期間別の積立投資評価額と投資元本

毎月の積立金額	5年間 (期間:2018年12月末~2023年12月末)	10年間 (期間:2013年12月末~2023年12月末)	運用開始来 (期間:2004年2月末~2023年12月末)
10万円	837万円 (投資元本 600万円)	2,810万円 (投資元本 1,200万円)	12,067万円 (投資元本 2,380万円)

計算の前提

- LTGG戦略は、LTGG戦略コンポジット(運用報酬控除前、円ベース、配当および分配金再投資)から、「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド」の実質的な信託報酬率(年率1.6445%税込)を控除して算出。税金・購入時手数料等は控除無し。
- 全世界株式は、MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス(税引き後配当込み米ドルベース)をもとに委託会社が円換算したものを使用して算出。手数料等は控除無し。
- 毎月末一定金額を一定期間積立投資(最終月末を除く)したと仮定。

(出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

上記の指数は当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドのベンチマークではありません。積立投資をした場合のシミュレーションを、お客さまによりご理解いただくため、LTGG戦略とあわせて、全世界株式の推移を表記しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。積立投資は運用状況によっては投資元本を割り込むケースがあります。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ファンドの目的 日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1

長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。

- 外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。
- 投資にあたっては、国や地域、業種、時価総額に捉われずに、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行います。

2

外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドが行います。

- ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドは、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの子会社で、実質的な運用はベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。

3

原則として、為替ヘッジは行いません。

4

「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド」は、年1回の決算時(1月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)」は、毎月の決算日(毎月25日(休業日の場合は翌営業日))の前営業日の基準価額に応じた分配を目指します。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- 原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、以下に記載された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※基準価額の値上がりにより、分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える分配金テーブルに該当することによって資金が不足する場合は、テーブル通りの分配ができないことがあります。

※上記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)は、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因: 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみみなさまに帰属します。したがって、投資者のみみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三井住友銀行でお申込みの場合

■お申込みメモ

購入単位	1万円以上1円単位 投信自動積立の場合 1万円以上1千円単位 / スwitchングの場合 1円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金単位	1円以上1円単位
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目にお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ダブリンの銀行の休業日およびその前営業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	■ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド: 無期限(2019年1月31日設定) ■ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型): 2039年1月25日まで(2021年1月19日設定)
繰上償還	各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。
決算日	■ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド: 毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日) ■ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型): 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	■ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド: 年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) ■ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型): 毎月の決算時に分配を行います。 収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA(少額投資非課税制度)」の適用対象となります。「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド」は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。「予想分配金提示型」は、NISAの対象ではありません。NISAの概要等については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。
スイッチング	「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド」と「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)」の間で、無手数料でスイッチングが可能です。 スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。くわしくは三井住友銀行にお問い合わせください。

三井住友銀行でお申込みの場合

■ ファンドの費用

投資信託は、ご購入・ご換金時に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。くわしくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

お客さまが直接的に負担する費用

ご購入代金に応じて、下記の手数料率をご購入金額(ご購入価額(1口当たり) × ご購入口数)に乗じて得た額
 1億円未満 **3.30%(税抜 3.00%)** / 1億円以上5億円未満 **1.65%(税抜 1.50%)**
 / 5億円以上10億円未満 **0.825%(税抜 0.75%)** / 10億円以上 **0.55%(税抜 0.50%)**
 ※スイッチング手数料はかかりません。
 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
 ※別に定める場合はこの限りではありません。

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率1.5895%(税抜 年率1.4450%) をかけた額
運用管理費用 (信託報酬)	投資対象とする 投資信託証券 (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。) ファンドの純資産総額に対して 年率0.055%以内 年率1.6445%程度(税抜 年率1.5000%程度) ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド」については、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)」については、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

【本資料で使用している指数について】

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufj.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

●投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本店等にご用意しています。●投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。●投資信託は預金ではありません。●投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。●三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。●本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した販売用資料です。●本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。●本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成していますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。

■ 設定・運用は

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会



株式会社三井住友銀行
 登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
 加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会